

令和4年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和4年11月23日（祝）10時～11時15分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民13名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、小林財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、南川建設部長、森都市部長、担当課長等 16名
- 懇談要旨

市民：一つは質問と二つは要望です。一つ目は先ほどこちょっと説明がなかったんですが、千葉北西連絡道路、国道16号バイパスについてお聞きしたいと思います。11月10日に市長が参加したシンポジウムがあったと思います。

大型貨物を含めて貨物車は平成3年から4年の2,100万台をピークに、令和4年度では1,400万台と約700万台近く減少している中で、柏市内の渋滞、これを解消するために三つの案が出ました。立体交差等で国道16号をもっと改善するべきじゃないかと。計画がかなり具体的な計画案として浮上してきているということを知っています。

そうすると、今後我孫子市が渋滞のため人の解消のために多くの犠牲を払わなければならない事態も想定されますので、ぜひその点を市長も鑑みて、広報に掲載するなど、色々と市民に情報提供をして、アンケート等で意見を聴取してほしいと思います。ルートについても、意見を聞いたうえで検討してほしいと思います。

二つ目は、当自治会の窓口で、コンビニに粗大ごみ処理券を買いに行ったら売り切れていたの、自治会として何とかならないかというご意見がありました。事務局としては、買取でも構いませんので、手賀沼カレンダーと同様に、この処理券を自治会で取り扱いさせてほしいと思っています。

環境経済部長：ご提案ありがとうございます。また、この度は、粗大ごみ処理券が売り切れてしまったということで、ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

現在カレンダーを販売していただいているということでこの処理等については、今後の検討課題として持ち帰らせていただいて、考えさせていただきたいと思っています。

市長：千葉北西連絡道路の件ですが、国道16号のバイパスという表現は、今は全く使っておりません。当初は国道6号と国道16号が交差する呼塚交差点の渋滞がひどすぎてそれを緩和していくため、我孫子市でも国道6号の信号の調整をして、呼塚の渋滞は少し緩和しているようなイメージがありますが、我孫子市の青山台交差点などで結構な渋滞が起きているのは、呼塚交差点の渋滞を比較的短くするために時間調整をしているというような状況になってきています。国の方も外環道路が通って、多少国道16号の渋滞は緩和されるのではないかと、聞いていたのですが、調査してみると全然国道16号の状態は解消していないというデータが出てきました。

日本全国の中でも国道16号の渋滞はかなりひどい状況でして、国道16号の沿線に今か

なり大きく多くの物流拠点ができている、そこに集まる車もかなり増えていて16号線だけではなく、千葉ニュータウンの方にも物流拠点が進出してくるようになって、交通量は全然減っていないという状況になっています。

実は3年前でしたか、大きな台風で十数年ぶりに北新田が満水になり、道路が閉鎖されました。そうするとそこを通過していた車が、国道6号や国道16号に流れることによって、もっと凄まじい状態が引き起こされたという状況になりました。それを踏まえると例えば我孫子の会社や消防車、救急車までが渋滞の影響を受けてなかなかスムーズに通行できないという、非常に厳しい状況になったのが、北新田満水の時です。当然あのときには道路も一部崩れたりして水は引いたのにまだ通行できない状態が、しばらく続いたことを覚えていらっしゃるかと思います。

今、作ろうとしているこの千葉北西連絡道路については、いわゆる一般国道ではありません。自動車専用道路として計画をしています。

そうすると、国道6号の我孫子市内や柏市内の渋滞がさらに増えるというよりも、我孫子や柏を通過する車を流しながら、生活している車だけは国道16号、国道6号を通りやすいようにするというのを目標に作っていくと理解していただければと思っています。

予定では、野田から我孫子、印西を通りながら国道464号に接続するというルートを第1期として計画していますが、まだ通るルートが正式決定したわけではありません。

そういう状況の中で、このルートを基本にしながら千葉国道事務所から関東地方整備局あるいは、国交省という順番に上がっていかなければ実現がされなく、まだまだ時間がかかる道路というのは認識をしています。

ただ、この道路ができることによって利根川の堤防強化ですとか、あるいは我孫子市では道路周辺の土地利用の変更、あるいは企業が進出しやすい環境、こういったことは非常に期待できる、効果が大きいものだというようには思っています。

当然、それを計画が一つずつ進むにつれて、この前のようなシンポジウムですとか、あるいは周辺住民への意見聴取をお願いする機会があると思いますが、まだまだ決定には10年以上、20年、かかるかもしれないという状況です。まだ用地買収ができている状況ではありませんし、工事の方法についてもまだ決まっておられません。

また、北新田の部分を橋脚とするのか、我孫子市内の利根川の堤防を通るときは、いわゆる嵩上げがされるのかなど、まだ具体的に決まっているわけではありませんので、どんな形で沿線住民に影響があるかというのは、これからになると理解をしていただければと思います。

ただ、繰り返しになりますが我孫子としては、利根川の堤防が決壊した場合には非常に大きな影響は出てきますから、利根川の堤防の強化工事に繋がること、そして我孫子市内でも企業誘致や、あるいは仕事場が確保できるような工事事業として、国の方にはこれからも意見を申し上げていきたいと思っています。

市 民：私もちょうど後期高齢者になりまして、全国で約3,600万人の高齢者がいるわけですが、それと千葉県でも170万人ぐらいが高齢者と言われています。我孫子も当然な

がやはり、35,000人ぐらいいると思うのです。最近特に、難聴というか耳が遠い人が結構周りにいます。現実的に、全部高齢者が生活に困っているわけではないと思いますけれど、やはりそういう点でいくつかの自治体でもこの補聴器の助成制度ができています。市長もお医者さん経験があり、そういう部分は詳しいと思いますけれど、ぜひ近々の選挙で高齢者のためにも、補聴器の助成制度を一つ公約にお願いしたいなと思って、今日、発言させていただきました。

市長：はい、ありがとうございます。私も市長に就任してから、やっぱり医療関係と福祉関係では、だいぶ重点を置いてきたつもりです。

ただ、その中でもやはり我孫子は、かなり税金がないなと、思いました。16年前、市長に就任してみたら本当にありませんでした。驚いたぐらいなかったのですが、そのような中でも少しずつやりくりをしながら振り分け、他などからの補助金をもらうことが可能になると、税金を他に振り分けることができました。それを少しずつ広げてきました。

その中で、このような状況を踏まえると、なかなかあれにもこれにも予算をあてるという状況にはならないというのは、ご理解いただいているかと思います。

確かに補聴器の補助という声が上がっているのは承知をしています。当然、年を取ってきて、例えば耳が聞こえづらくなって、補聴器が必要になる、そうすると目も悪くなって、老眼鏡が必要になる。これを全ての方々に補助することは、多分無理だと考えております。かなりの金額になっていくという状況の中で、どこかで線を引く必要があると思います。例えば、病気が理由で聞こえなくなった人と、ただ単純に加齢で補聴器が必要になる人がいると思います。また、その状態のレベルによっても違うのだろうと認識をしていますので、そこはこれからも医師会とも相談させていただいて、どのレベルがないと生活に困るのかと検討していきます。

ご指摘のとおり、我孫子の場合は約4万人以上いる65歳以上の方や、75歳以上は2万人ほどいらっしゃいますが、全員に補助を出すとすると、現実的には厳しいと思っています。どこからが補助対象で、どこまでが補助にはならないで、自助努力をしていただくかというものを、これから医師会とも相談が必要であると思っています。

その中で、今回12月補正でつけさせていただいたのが、带状疱疹ワクチンの接種補助になります。今現在、2種類のワクチンが出ています。一種類はいわゆる生ワクチンで、我孫子市内の医療機関で大体8,000円ぐらいです。4分の1の補助ですと2,000円になり、もう一種類のワクチンは一回約2万円します。これは2回接種になるので、1回5,000円掛ける2回ですから、4万円に対して約1万円補助という形で1月から実施をする予定にしています。これは、テレビコマーシャルでも放送し始めていて、多くの声をいただくようになり、医師会と調整して12月議会に上程しています。

また、子供たちの3歳児健診もいわゆる弱視と斜視などの検査は3歳だとおとなしくしてられないので、はっきりと判断できない場合がありますが、それを約1秒で判定ができる機械を導入することによって、早期に弱視等を診断できるようになります。

医師会で協力体制がとれるという返事をもらえないとなかなか難しいですが、医師会

との調整も済んだので、12月補正で機械の導入の予算を計上していきます。導入され次第、3歳児健診に組み入れていく予定ですが、おそらく3月くらいからになると思います。

このような形で、少しずつ様々な状態の方々を支援し続ける施策については検討を進めていきたいと思いますが、最終的には必要とされるものと、あったらいいなというものは、分けさせていただければと思います。

また、我孫子は財政状況が豊かではなく、実際に高齢者が増えていくことによって、市税収入が少しずつ下がっています。ただそれに対応するためには当然、国や県から皆さん方が納められている国税や県税を我孫子市に持ってきてもらう、または持ってくるような交渉が必要だと思っています。補聴器の補助につきましても、もうしばらくお時間を頂戴したいと思っています。

市民：要望が三つあります。一つはコロナの感染者のデータについてです。我孫子市の場合は10月27日からホームページへの掲載を中止したと思います。

年齢や男女別のデータは省略してもいいと思うのですが、我孫子市の10月とか11月など月々の感染者数というのは、そんなに難しいことではないと思うのです。そのぐらいは載せてほしいと思います。

二つ目は前回もお伝えしましたが、個別議員の議会中継をもっと早く見ることができないか、という件です。これは、ぜひもうちょっと検討してほしい。

三つ目、これはちょっと細かいことなんですが、ゴミ収集場所は交差点に多く、交通を妨げることが度々ありました。改善していただきたいと思っています。

環境経済部長：ご質問ありがとうございます。ゴミ収集車の収集場所について、現状ではどうしても設置場所については、自治会に決めていただいているところであり、ブロックの角にした方が都合がいいという状況もあるかと思っています。しかし、ゴミ収集車が交通を妨げるというご意見をいただきましたので、その件については、委託業者に伝えて、指導をしたいと思っています。

市長：新型コロナの感染者数や内訳については、保健所からの情報提供を受けながら、市の方で公表していました。以前は毎日出していましたが、今は金曜日にまとめてホームページへ掲載しています。

これは柏や船橋のように保健所を持っていない我孫子では、感染者の情報を持っていないため、県から毎日情報が来ない限りは、皆様にもお知らせができないということをご理解ください。

議会中継につきましても、議会事務局にも確認をさせていただきましたが、現在は、パソコンの他にスマホやタブレットでも見られるようにシステム更新を行ったのだそうです。今までは、職員が作業をし、翌日ホームページに掲載していましたが、今は業者に委託し、スマホでも見られるようにシステムを改修したことによって、1週間ほどお時間をいただいている状況です。これについては、特に翌日なのか1週間前なのかによって

大きな変更は感じてない人が圧倒的に多いのか、ほとんど苦情がないという状況になっています。今のところ、システム改修によって、そのような影響が出てしまったということをご報告させていただきます。改めて、日にちを短縮できないかどうかについては、再度議会の方に報告させていただきます。

市 民：実は今初めて知ったのですが、千葉北西連絡道路基本方針ということで、20年、30年かかる計画だということで、これはメリットだけでなく、本当にいろいろな問題を含んでいるのかと思います。青山の排水機場も簡単には移動できないと思います。また、過去にも、住民の反対によって中止になった土木工事もあります。メリットだけではなく、デメリットも考えていただきたいと思います。八ッ場ダムも闘争があって、30年も40年もかかってやっとできたはずです。だから、本当にデメリット対策というものを今のうちから何か考える必要があるのではないかというのが、私の考えです。耳を傾けていただければありがたく思います。

市 長：ありがとうございます。誤解のないようにしてほしいのは利根川ルートと言っても、利根川の堤防を必ず通ると決まっているわけではありません。そのため、青山の排水機場を通るとは限っていないということです。

しかし、堤防のそばを通ろうとすると今ご指摘のようなくつかの施設が引っかかることはあると思いますが、既存の建物を取り壊して、もう一度作るというのは違うと思っています。

例えば、完成間近のクリーンセンターを壊してでも道路にするかということ、それはまた違うものだと思っていますので、そこはこれからルートが決まっていきながら検討していきたいと思っています。

今回、示されたのはこの辺がいいかなというレベルであって、ルートが決まったわけではないということ、まず理解しておいてほしいと思っています。

当然その周辺、場所によっては、住宅地が近すぎて厳しいところや、既存の施設の関係で、デメリットが大きい箇所もあると思いますが、全体的にはメリットの方が大きいと考えています。先ほど、八ッ場ダムの話がありましたが、色々あったのは承知していますが、実際に完成したことで、水害対策にかなりの効果があったと思っています。八ッ場ダムが稼働してなければ、堤防が決壊していたと話す他市の市長もいました。八ッ場ダムがあれだけたまって、北新田にも水を入れる必要があるほどの大雨でした。今後は北新田の貯水量を上げられるように国の方で検討を始めています。

まずは、ダムによって上流で水を留める、その後は、調節池の能力を上げて、決壊しないように対策をしていくことが必要だと思っています。

それに合わせて、千葉北西連絡道路も、スーパー堤防のような形で作り、堤防の強化につなげていくのか、あるいは橋脚で作っていくのかということも考えていく必要があります。ルートと構造によってはメリットとデメリットがありますので、我孫子にとってメリットが大きい方法を選択してもらうように意見を伝えていく予定です。まだ、具体的

ではなく、事業は20数年かかるのではないかと考えています。

市 民：先ほど聴覚障害の人に補助という話が出ていましたけれども、私も必要だと思います。先延ばしにするのではなく、しっかりと対象者を調べて、検討してほしいと思います。

市 長：ありがとうございます。今、聴覚障害という表現が出ましたが歳をとって耳が聞こえなくなった人に対しての補助というのはずっと聞いていましたが、聴覚障害に対する補助というのは初めてお伺いしました。先ほど言ったように、そこは分けたいと考えています。加齢によって聞こえづらくなってきた人と、障害によって聞こえない人は別だと思っています。年を取ってきたから老眼鏡が必要な人、視覚障害や、病気のために眼鏡が必要な方も分ける必要があると思います。今のご提案のように、聴覚障害ということであれば私も理解しやすいのですが、今まで私が聞いてきた場合は、歳をとって聞こえない人に対しての補聴器購入の補助という話しか聞いていなかったもので、今回いただいた提案はありがたいと思っています。